

会長あいさつ



鈴木 俊美（栃木市長）

2月の記録的な大雪により被害に遭われました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。特に農林業への被害は甚大であり、現在栃木市及び岩舟町ともに歩調を合わせ復旧に向けた支援策を検討し

ております。

さて、約3年にわたり協議を進めてまいりました合併協議もすべて終了し、間もなく合併の日を迎えます。新しい「栃木市」の誕生を皆様とともに喜び合いたいと思います。

また、これまで合併の実現に向けてご尽力賜りました合併協議会委員の皆様をはじめ、両市町議会議員の皆様、そして何よりも両市町民の皆様の深いご理解とご協力に対しまして深く感謝申し上げます。

栃木市は地域自治制度を導入し、身近な行政サービスを提供する総合支所と地域住民の皆様方で構成される地域協議会を設置しています。この制度により、両市町でそれぞれに取り組んできた“まちづくり”や住民活動が引き続き生かされ、それらは新しい「栃木市」の“財産”となります。今後も、人・文化・伝統など様々な資源を継承し地域の魅力を輝かせたまちづくりを皆様と一緒に行ってまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

副会長あいさつ



市村 隆（岩舟町長）

岩舟町は町制施行52年の歴史に幕を閉じ、新しい「栃木市」が誕生するという飛躍のときを迎えようとしています。

栃木市との合併という歴史的な大事業の成就をみる事ができま

すのも栃木市、岩舟町の皆様の深いご理解とご支援のたまものであるとともに、限られた時間の中でこのような大改革が実現できた背景には、合併協議会委員、両市町議会議員の皆様をはじめ、多くの関係者にご尽力をいただいた結果であると、深く感謝申し上げます。

岩舟町が消えていくことに寂しい思いはありますが、将来においてこの合併が正しい選択であったと判断していただけるものと確信し、これからは岩舟町と栃木市の垣根を取り払い、これまで先人達の築きあげてこられた岩舟町の心を大切にしつつ、一人ひとりの方がともに力を合わせ、この合併が更なる郷土の飛躍的な発展へと繋がることを期待するとともに、皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げ合併協議会だより最終号にあたってのあいさつといたします。

栃木市・岩舟町合併の主な経緯

平成23年

- 4月8日 栃木市・岩舟町合併協議会を設置。
- 5月13日 第1回合併協議会を開催。
- 7月7日 第2回合併協議会において岩舟町長が住民の意思を問う住民投票を行うとして合併協議会の延期を申し入れ。
- 8月28日 岩舟町が実施した合併の意思を問う住民投票の結果「栃木市と合併する」が最多得票を得る。
- 10月21日 第3回合併協議会を開催。

平成24年

- 2月14日 第4回合併協議会で合併の方式、新市の名称、新市の事務所の位置が決定。
- 7月20日 第6回合併協議会で合併の期日が平成26年4月5日に決定。

平成25年

- 2月14日 第11回合併協議会で新市まちづくり計画が承認。合併協定調印式を挙行。
- 2月25日 両市町議会において廃置分合関連議案を可決。
- 6月19日 栃木県知事により栃木市・岩舟町の廃置分合が決定。
- 8月23日 総務大臣が栃木市・岩舟町の廃置分合を告示。合併が正式決定。

平成26年

- 3月31日 栃木市・岩舟町合併協議会を廃止。
- 4月5日 栃木市・岩舟町合併。

